

代表者名	吉野恭司	所管部課名	産業経済労働部観光課
所在地	秋田市中通二丁目3-8	設立年月日	昭和33年12月15日

【沿革、及び、県の出捐理由】

昭和33年 (財)秋田県観光開発公社設立
 昭和56年 (社)秋田県産業会館と合併
 (財)秋田県観光物産公社に改称
 平成9年 (財)秋田県物産振興会に改称

【出捐者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	70	66.7%
市町村	17	3	2.9%
その他	13	32	30.5%
計	31	105	100.0

【事業】

主たる業務

1. 県産品の普及宣伝、取引あっせん、販路拡大
2. 県産品に関する情報提供、製造業者の育成
3. 県産品の展示及び販売

事業実績 (百万円、回)

事業名等	11年度	12年度	13年度
アトリオン店売上	552	496	481
物産展売上高	421	376	334
物産展開催回数	14	12	11

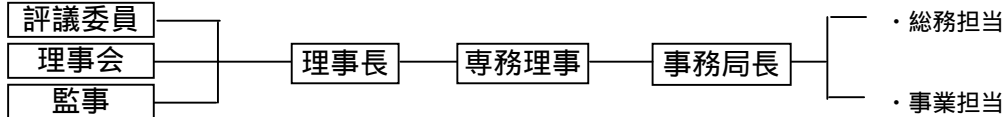
13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

13年度事業概要
 ・「秋田県の観光と物産展」11カ所で開催
 ・店内催事37回開催
 ・物産情報データベース作成事業

14年度事業計画・目標
 ・「秋田県の観光と物産展」13カ所で開催
 ・アトリオン店の店舗機能の強化

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	理	事	監	事
常勤		1		
内、県OB				
非常勤		10		2
内、県OB				
内、県職員		1		
計		11		2
内、県関係者		1		

職員数 (人)

	人数	備考
正職員	18	正職員平均年齢
内、県OB	1	46.0
出向職員		
内、県職員		
臨時・嘱託	6	正職員平均勤続年数
内、県OB		19.0
計	24	
内、県関係者	1	

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金額
経常収入 A	601
(受託事業収入)	61
(補助金収入)	7
自主事業収入	533
運用益収入	
その他	
経常支出 B	599
人件費	142
その他	457
経常損益 C = A - B	2
経常外収入	0
経常外支出	0
当期損益	2

財務状況(13年度末) (百万円、%)

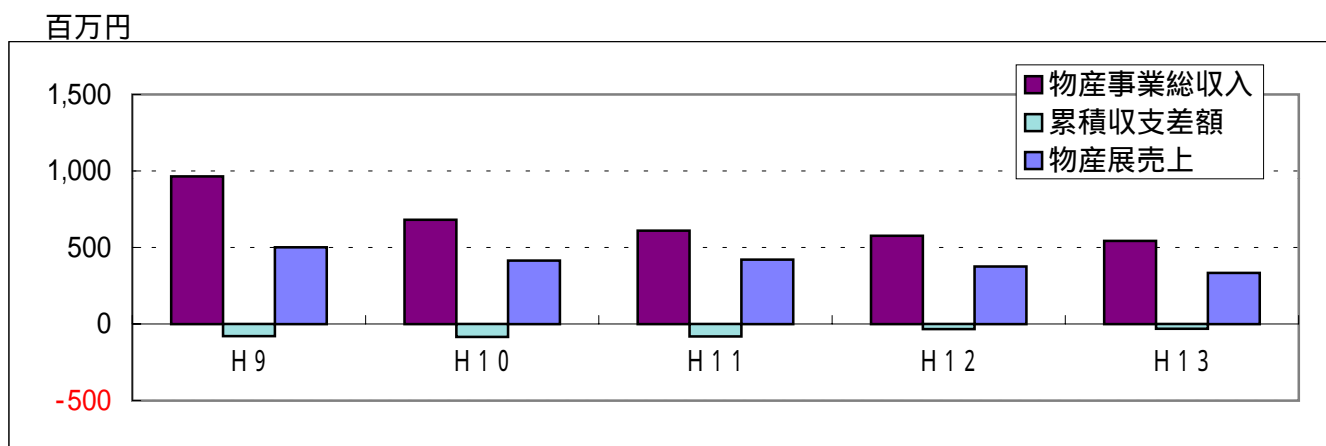
	金額	構成比
流動資産	92	40.2
固定資産	137	59.8
資産計	229	100.0
流動負債	142	62.0
短期借入金	110	48.0
固定負債		
長期借入金		
引当金等	12	5.2
負債計	154	67.2
基本金	105	45.9
剰余金	-30	-13.1
資本計	75	32.8
負債・資本計	229	100.0

【県の財政支出】

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金			7,219	・物産情報データベース作成事業
委託費	47,208	48,369	59,611	・特産品の開発対策事業、普及宣伝対策事業、販路開拓事業外
貸付残高	117,000	111,000	110,000	・秋田県物産振興会振興対策事業

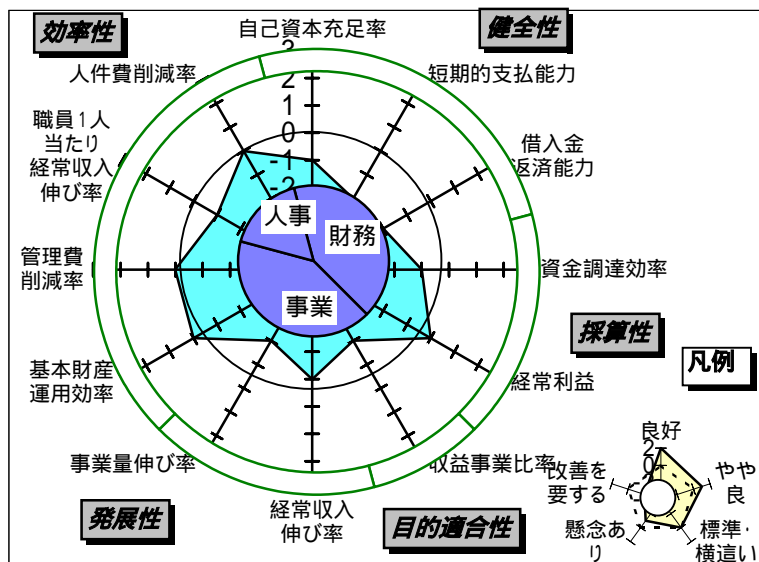
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

自己資本比率	32.57 %
流動比率	64.50 %
借入金返済年数	28.21 年
支払利息比率	- %
経常利益率	0.27 %
収益事業比率	90.11 %
経常収入額	600,991 千円
事業量(物産展売上高)	405,611 千円
基本財産運用効率	0.05 %
管理費比率	5.71 %
職員1人当り経常収入額	25,041 千円
人件費比率	23.63 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

13年度は、売上が減少するなど厳しい環境のなか、人件費の削減をはじめ、徹底したコスト削減と経営改善に努めた結果、経常利益を計上した。
 今後とも、経費削減を図るとともに、特産品の開発・普及・宣伝に取り組み、物産展などを通じた販路拡大を進め、早急な経営改善を目指していきたい。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
累積損失の早期解消を目指し、民間の経営ノウハウを積極的に導入するなど一層の経営改善に努める必要がある。	